

月例統計報告（平成30年5月）

平成30年6月4日
企画振興部

1 秋田県の人口（秋田県の人口と世帯（月報）（平成30年5月1日現在）） 1

本県の総人口は、984,842人（男 462,867人 女 521,975人）

前月に比べ、179人（0.02%）減少した。

自然増減 849人の減少（出生者 380人 死亡者 1,229人）

社会増減 670人の増加（県内への転入者 2,428人 県外への転出者 1,758人）

この1年間では、14,602人（1.46%）の減少となる。

2 秋田県経済の動き

(1) 製造業の生産動向（鉱工業生産指数月報（平成30年3月分）） 2

秋田県鉱工業生産指数（平成22年=100）

季節調整済指数 100.5 : 前月比 2.8%上昇（3か月ぶりの上昇）

原指数 106.6 : 前年同月と同水準

全国の鉱工業生産指数（平成22年=100）

季節調整済指数 104.1 : 前月比 1.4%上昇

(2) 雇用・労働情勢（毎月勤労統計調査速報（平成30年3月分）） 3

賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比（前月比）は指数により算出

現金給与総額 252,884円 : 前月比 5.6%増、前年同月比 1.7%増

総実労働時間 154.4時間 : 前月比 1.7%増、前年同月比 0.4%増

常用雇用指数 100.4（平成27年=100）

: 前月比 0.6%減、前年同月比 1.2%減

(3) 物価動向（消費者物価指数（平成30年3月分）） 4

秋田市消費者物価指数 101.9（平成27年=100）

前月比0.5%下落、前年同月比は1.5%上昇

全国の消費者物価指数 101.0（平成27年=100）

前月比0.4%下落、前年同月比は1.1%上昇

(4) 景気動向（景気動向指数（平成30年3月分）） 5

先行指数 81.6 前月を1.3ポイント上回り、4か月ぶりに上昇

一致指数 110.5 前月を2.2ポイント上回り、3か月ぶりに上昇

遅行指数 104.3 前月を2.2ポイント上回り、3か月連続で上昇

1 秋田県の人口(「秋田県の人口と世帯(月報)(平成30年5月1日現在)」)

(1) 平成30年5月1日現在の本県の総人口は、984,842人(男 462,867人 女 521,975人)で、前月に比べ179人(0.02%)減少した。

自然増減 849人の減少(出生者 380人 死亡者 1,229人)

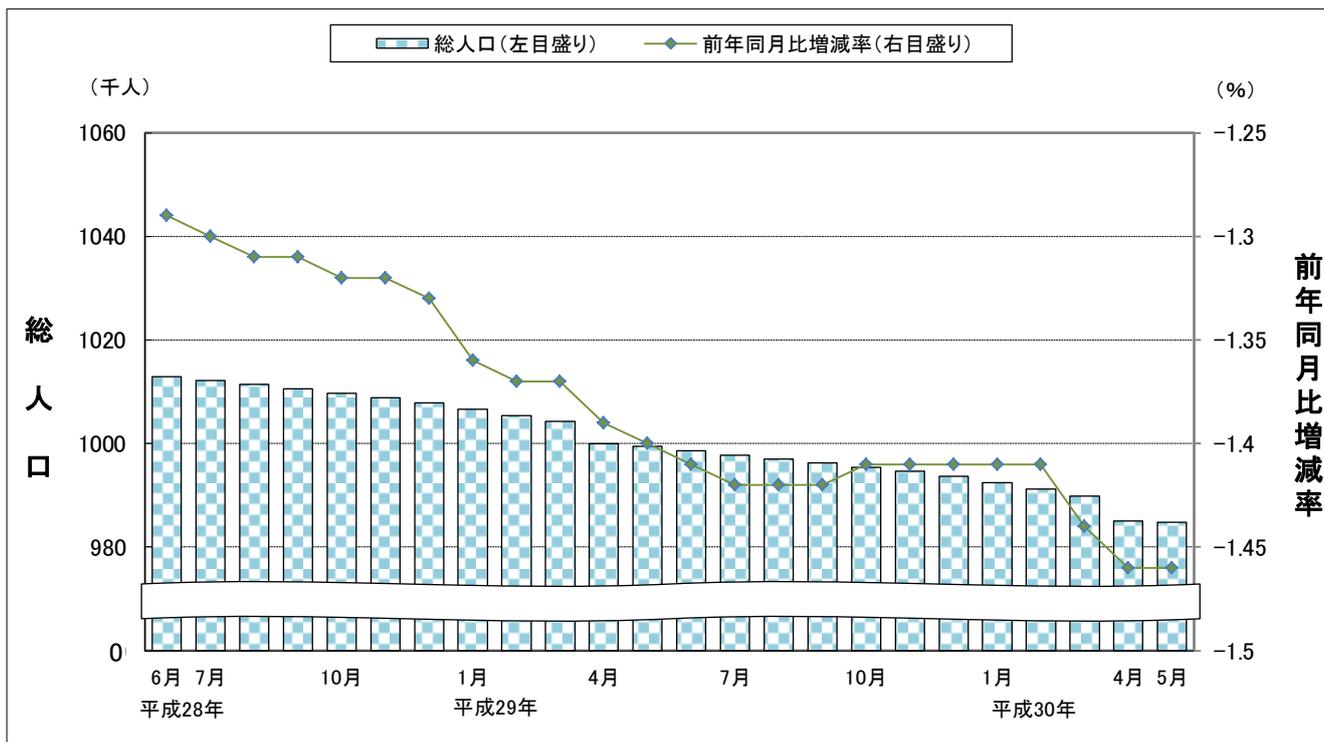
社会増減 670人の増加(県内への転入者 2,428人 県外への転出者 1,758人)

(2) この1年間では、14,602人(1.46%)の減少となる。

自然増減 10,125人の減少(出生者 5,236人 死亡者 15,361人)

社会増減 4,477人の減少(県内への転入者 12,191人 県外への転出者 16,668人)

(3) 世帯数は389,257世帯で、前月に比べ1,588世帯増加した。



○自然増減と社会増減の推移

年月	自然増減			社会増減			人口増減 =自然増減 +社会増減
	出生 (人)	死亡 (人)	自然増減 (人)	転入 (人)	転出 (人)	社会増減 (人)	
H28. 10. 1 ~ H29. 9. 30	5,461	15,493	-10,032	12,498	16,751	-4,253	-14,285
H29. 5月 一か月間	435	1,299	-864	900	847	53	-811
6月 "	457	1,166	-709	731	937	-206	-915
7月 "	504	1,155	-651	970	1,054	-84	-735
8月 "	501	1,198	-697	1,033	1,012	21	-676
9月 "	434	1,111	-677	753	1,009	-256	-933
10月 "	490	1,267	-777	884	853	31	-746
11月 "	430	1,315	-885	615	689	-74	-959
12月 "	397	1,441	-1,044	597	760	-163	-1,207
H30. 1月 "	433	1,514	-1,081	583	802	-219	-1,300
2月 "	346	1,339	-993	631	948	-317	-1,310
3月 "	429	1,327	-898	2,066	5,999	-3,933	-4,831
4月 "	380	1,229	-849	2,428	1,758	670	-179
過去1年間の累計	5,236	15,361	-10,125	12,191	16,668	-4,477	-14,602

(参考)

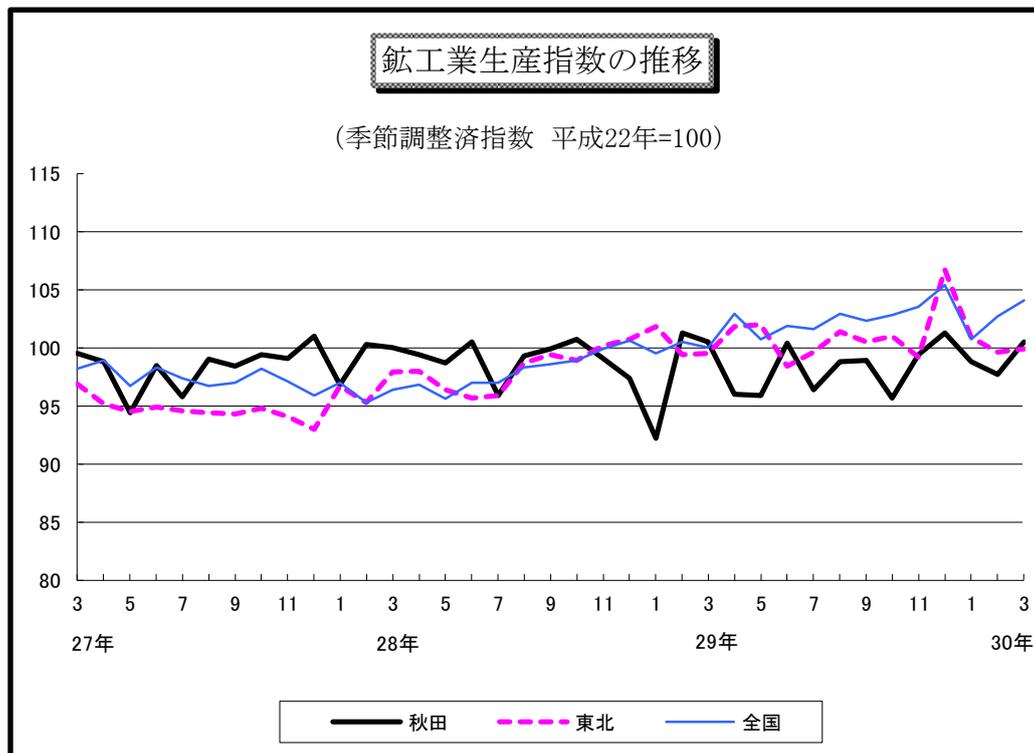
H29. 4月 一か月間	427	1,288	-861	2,456	1,787	669	-192
--------------	-----	-------	------	-------	-------	-----	------

2 秋田県経済の動き

(1)製造業の生産動向(「秋田県鉱工業生産指数月報(平成30年3月分)」)

平成30年3月の秋田県鉱工業生産指数は、季節調整済指数が100.5(前月比2.8%)で、3か月ぶりの上昇であった。また、原指数は106.6で前年同月と同水準であった。

なお、全国の季節調整済指数は104.1で前月比1.4%の上昇となり、東北は99.9で、前月比0.3%の上昇となった。



○主な増減要因(対前月)

業種名	指数値	前月比(%)	寄与率(%)	主な品目名
□上昇した主な業種				
はん用・生産用・業務用機械工業	115.4	20.6	92.7	印刷機械、産業用ロボット
パルプ・紙・紙加工品工業	95.0	25.5	26.5	コート紙、軽量コート紙
その他工業	170.4	5.4	23.7	一般製材、パッキン類
□低下した主な業種				
金属製品工業	76.8	▲ 26.1	▲ 38.7	配管工事用付属品
電子部品・デバイス工業	107.0	▲ 2.6	▲ 36.8	粉末冶金製品(磁性材料)、プリント配線板

※「寄与率」は、鉱工業総合指数の上昇または低下に対し、各業種のうちの業種がどれだけ全体に影響を与えたかを構成比で示したものである。

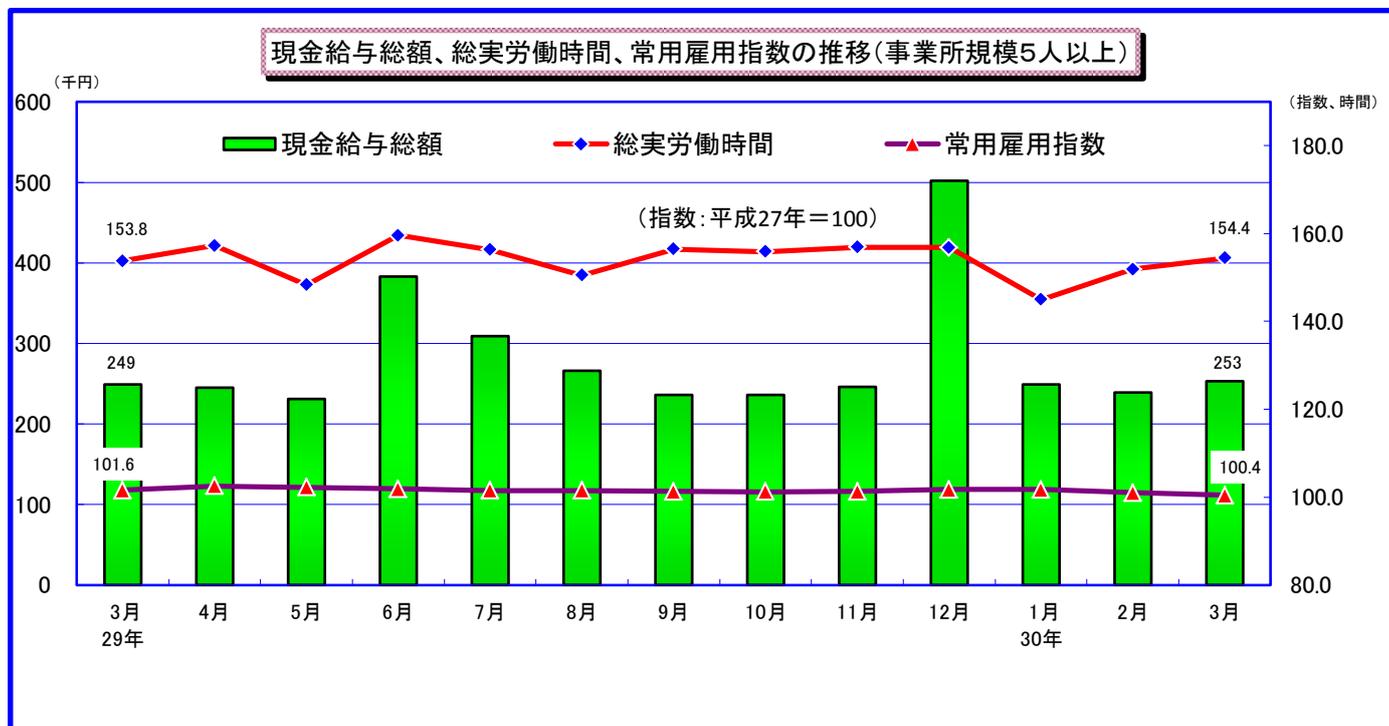
(2) 雇用・労働情勢(「毎月勤労統計調査地方調査結果速報(平成30年3月分)」)

(※賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比(前月比)は指数により算出)

平成30年3月の現金給与総額は、252,884円となり、前月比5.6%の増、前年同月比1.7%の増となった。

総実労働時間数は154.4時間で、前月比1.7%の増、前年同月比0.4%の増であった。

常用雇用指数は100.4で、前月比0.6%の減、前年同月比1.2%の減となった。



○産業別動向(事業所規模 5人以上)

1 現金給与総額

増加した主な産業	金額(円)	前年比(%)
宿泊業、飲食サービス業	118,848	18.9
金融業、保険業	345,727	15.4
製造業	239,666	10.3
減少した主な産業	金額(円)	前年比(%)
情報通信業	285,493	▲ 28.4

2 総実労働時間

増加した主な産業	時間	前年比(%)
宿泊業、飲食サービス業	118.2	19.8
減少した主な産業	時間	前年比(%)
教育、学習支援業	142.2	▲ 12.5
情報通信業	155.9	▲ 5.6
学術研究、専門・技術サービス業	159.4	▲ 5.0

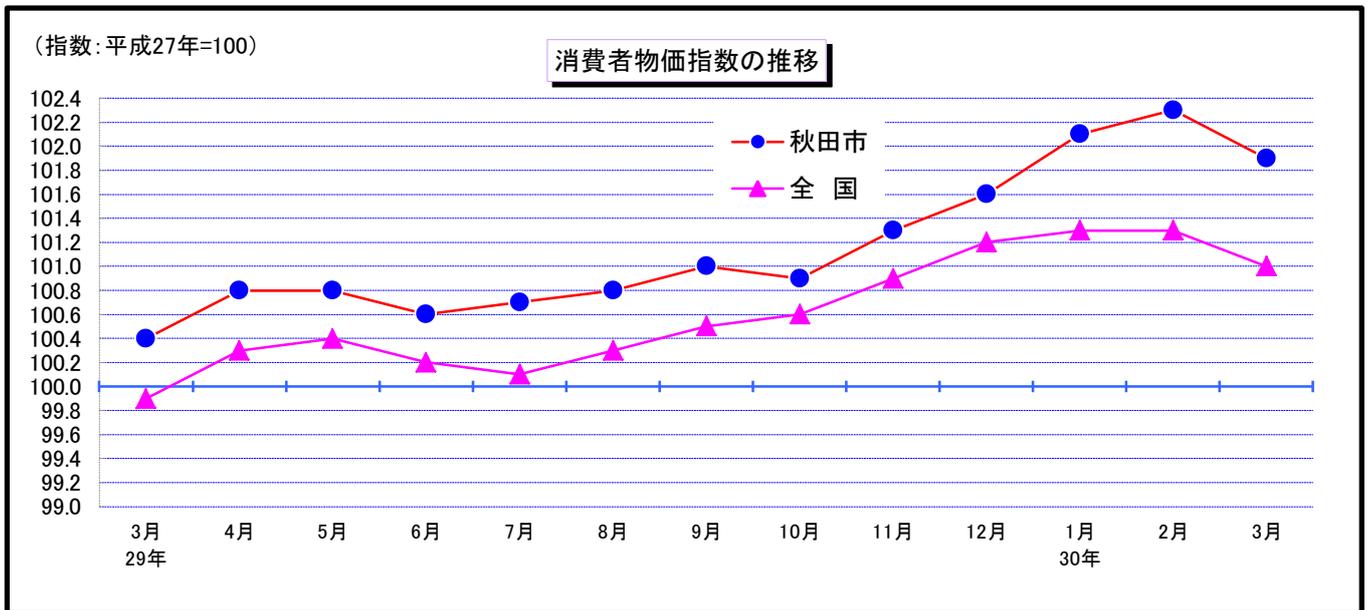
3 常用雇用指数

増加した主な産業	指数	前年比(%)
情報通信業	123.8	31.0
サービス業	115.2	11.5
減少した主な産業	指数	前年比(%)
複合サービス事業	41.8	▲ 57.2
宿泊業、飲食サービス業	89.8	▲ 17.3

(3) 物価動向(「消費者物価指数(平成30年3月分)」)

平成30年3月の秋田市消費者物価指数は101.9(平成27年=100)となり、前月比0.5%下落、前年同月比1.5%上昇。

また、全国の消費者物価指数は101.0となり、前月比0.4%下落、前年同月比1.1%上昇。



10大費目指数の動き(平成27年=100):秋田市

	総合				食料			住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
	生鮮食品を除く総合	生鮮食品及びエネルギーを除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	生鮮食品	生鮮食品を除く食料											
当月指数	101.9	101.2	101.0	100.4	105.5	114.4	103.5	100.3	101.2	94.3	101.5	103.5	99.7	104.8	101.3	101.0
前月比(%)	-0.5	0.0	0.0	-0.1	-1.5	-8.2	0.3	0.0	0.4	-1.3	-0.3	-0.3	0.2	-1.0	-0.1	0.2
前年同月比(%)	1.5	1.0	0.3	0.0	3.3	10.6	1.7	-0.1	5.2	-5.7	-2.8	1.8	2.4	1.4	-0.3	0.9

〔上昇〕

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
食料	生鮮野菜	19.5	0.44
光熱・水道	他の光熱	13.3	0.20
交通・通信	自動車等関係費	2.7	0.22

〔下落〕

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
家具・家事用品	家庭用耐久財	▲18.8	▲0.23
被服及び履物	洋服	▲4.3	▲0.06
教養娯楽	教養娯楽用耐久財	▲5.4	▲0.03

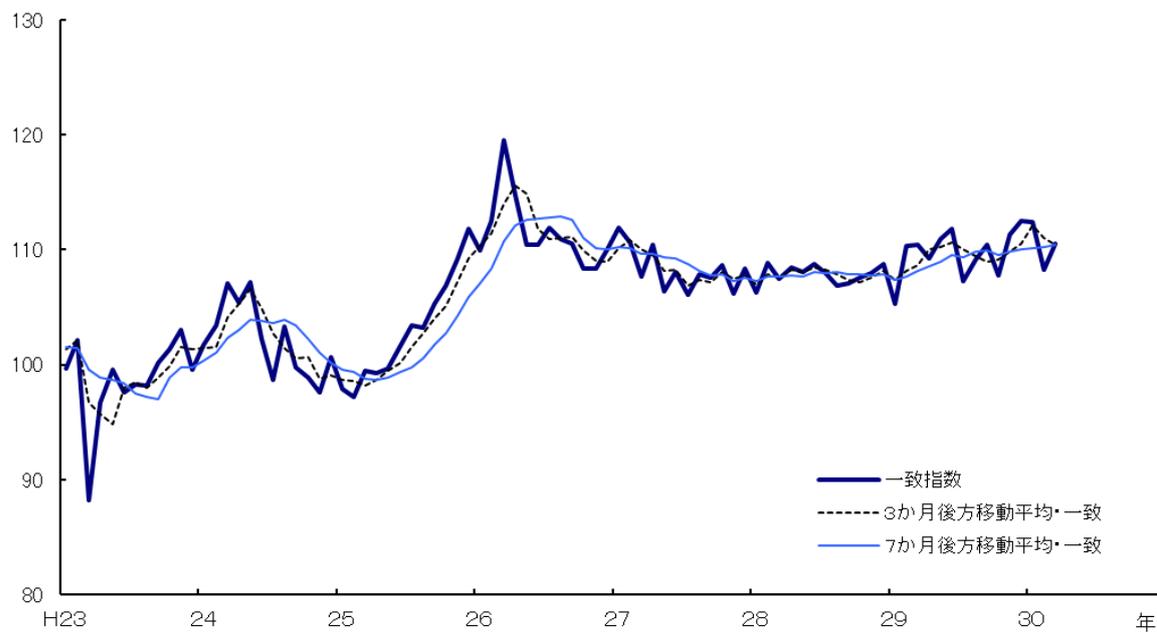
※寄与度とは、その費目が総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示すものである。

(4) 景気動向 (「秋田県景気動向指数(平成30年3月分)」)

先行指数 81.6 前月を1.3ポイント上回り、4か月ぶりに上昇
 一致指数 110.5 前月を2.2ポイント上回り、3か月ぶりに上昇
 遅行指数 104.3 前月を2.2ポイント上回り、3か月連続で上昇

一致指数のグラフ

(平成22年=100)



○一致指数採用指標の前月比較

指 標 名	前月	今月	対前月増減	寄与度
有効求人倍率(倍)	1.48	1.59	0.11	1.42
雇用保険受給者実人員(逆)(%)	-5.6	-6.6	-1.00	0.16
所定外労働時間指数(27年=100)	133.0	125.1	-5.94%	-1.03
鉱工業生産指数(22年=100)	97.8	100.5	2.76%	0.69
生産財生産指数(22年=100)	111.3	112.1	0.72%	0.13
百貨店・スーパー販売額(%)	-1.3	-0.4	0.90	0.18
投資財生産指数(22年=100)	87.2	95.7	9.75%	1.17
建築着工床面積(千㎡)	42	38	-9.52%	-0.49
CI 一致指数(全体値)	108.3	110.5	2.2	

景況ダイジェスト（平成30年5月）

対 象	資料名 公表機関 対象期間等 公表日	内 容											
県 内	県内金融経済概況 日本銀行秋田支店 平成30年5月25日公表	<p>[概況] 県内景気は、回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産は、緩やかに回復している。 ・需要面をみると、公共投資は、緩やかな増加基調にある。住宅投資は、堅調に推移している。設備投資は、高めの水準を維持している。個人消費は、緩やかに増加している。 ・雇用・所得環境は、改善している。 ・消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年を上回った。 											
	県内経済動向調査結果 企業活性化・雇用緊急対策本部 （産業政策課） 平成30年3月分 平成30年5月16日公表	<p>[概況] 県内経済は、個人消費は全体としては緩やかな持ち直しの動きがみられ、製造業は緩やかに増加しており、雇用は高水準で推移している。</p> <p>製 造 業：輸送機械が前年を下回ったものの、電気機械が好調なほか、木材・木製品が全体としては増加傾向にあり、緩やかに増加している。</p> <p>建 設 業：公共投資は4か月連続で前年同月を下回った。</p> <p>小 売 業：全体としては緩やかな持ち直しの動きとなっている。</p> <p>サービス業：一部で前年好調の反動の影響がみられるものの、全体としては横ばいの動きとなっている。</p> <p>[全業種] DI値を前月と比較すると、3か月前との業況比較は▲18.5から▲9.7、現在の資金繰りは▲14.0から▲6.5、3か月前の業況見通しは、8.9から3.3となっている。</p>											
	あきた経済 一般財団法人秋田経済研究所 平成30年3月分 平成30年5月号	<p>[概況] 県内経済は、持ち直しの動きが続いている。</p> <p>電子部品の生産は弱含みの動きとなっているが、機械金属は持ち直しているほか、木材も堅調に推移している。建設は、住宅着工が前年を下回ったが、公共工事は底堅く推移している。個人消費は持ち直しの動きが足踏みしている。雇用情勢は改善基調にあるが、一部業種では人手不足が深刻化している。</p>											
	HOKUTO経済調査レポート 北都銀行 平成30年5月号	<p>[県内経済概況] 依然需要面に弱さが残るものの、緩やかな持ち直しの動きが続く県内経済</p> <p>最近の県内経済は、個人消費は大型小売店販売の前年割れが続くなど、総じてみれば足踏み感が残り、足元の住宅投資や公共投資も前年を下回り減少基調で推移しています。この間、生産活動は機械金属や電子部品などを中心に全体としては持ち直し基調にあり、雇用情勢は人手不足が深刻化しつつあるものの改善傾向を辿るなど、県内経済は依然として需要面に弱さが残るものの、緩やかな持ち直しの動きが続いています。</p>											
	秋田県内の一般職業 紹介状況について 秋田労働局職業安定部 平成30年3月分 平成30年4月27日公表	<p>[概況] 平成30年3月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人倍率（季節調整値）は1.59倍となり、前月を0.11ポイント上回った。（全国平均は1.59倍、前月と比べ0.01ポイント上昇）</p> <p>有効求人数（季節調整値）は前月に比べて4.8%増加、有効求職者数（同）は2.2%減少した。</p> <p>雇用保険受給者実人員は、前年同月に比べ6.6%減少となり、同比5か月連続で減少した。</p> <p>県内の雇用失業情勢は、着実に改善の動きが続いており、有効求人倍率は過去最高となった。</p> <p>① 新規求人数は10,742人、前年同月比10.4%（1,009人）増加。同比8か月連続で増加した。</p> <p>② 有効求人数は26,367人、前年同月比11.2%（2,647人）増加。同比51か月連続で増加した。</p> <p>③ 新規求職者数は5,094人、前年同月比10.5%（599人）減少。同比3か月連続で減少した。</p> <p>④ 有効求職者数は17,491人、前年同月比7.9%（1,503人）減少。同比99か月連続で減少した。</p>											
	秋田県企業倒産状況 （株）東京商工リサーチ秋田支店 平成30年4月度 平成30年5月2日公表	<p>（負債額1,000万円以上の企業倒産）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">倒産件数</td> <td style="text-align: center;">2件</td> <td style="text-align: right;">負債総額</td> <td style="text-align: right;">8,500万円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">前年同月比</td> <td style="text-align: center;">-50.00%</td> <td></td> <td style="text-align: right;">-58.93%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">前年同月</td> <td style="text-align: center;">4件</td> <td></td> <td style="text-align: right;">2億700万円</td> </tr> </table> <p>件数は単月集計では最小タイ、負債総額も2番目に少ない低水準</p>	倒産件数	2件	負債総額	8,500万円	前年同月比	-50.00%		-58.93%	前年同月	4件	
倒産件数	2件	負債総額	8,500万円										
前年同月比	-50.00%		-58.93%										
前年同月	4件		2億700万円										

県内	情報収集結果 秋田県中小企業団体中央会 平成30年4月分 平成30年5月14日公表	[業界判断指数]単位：%P	業界全体	製造業	非製造業	売上高	収益状況	
		3月分D I	-27.5	-28.2	-27.0	-37.5	-27.5	
		4月分D I	-27.5	-31.2	-25.0	-33.8	-33.7	
		比較増減	0.0	-3.0	2.0	3.9	-6.2	
	秋田県内の公共工事動向 東日本建設業保証株式会社 秋田支店 平成30年4月分 平成30年5月11日公表	対前年度増減率 件数55件増加、請負金額19.9%増 (金額単位：百万円)						
		区分	平成29年4月		平成30年4月		対前年度伸率(%)	
		発注者	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額
		国	38	2,943	49	5,594	28.9	90.1
		独立行政法人等	0	0	1	4	-	-
		県	188	8,287	216	12,281	14.9	48.2
		市町村	55	5,328	70	6,830	27.3	28.2
		地方公社	0	0	0	0	-	-
		その他※	6	5,484	6	1,714	0.0	-68.7
		合計	287	22,044	342	26,425	19.2	19.9
		※「その他」発注者：国、独立行政法人等、地方公共団体を除く国土交通大臣が指定する指定公共工事発注者						
	県内経済情勢報告 財務省東北財務局 秋田財務事務所 平成30年4月24日公表	項目	内容					
		総括判断	県内経済は、緩やかに持ち直している					
		個人消費	緩やかに持ち直している					
		住宅建設	前年を下回っている					
		設備投資	29年度は減少見込み					
		公共事業	前年度を上回っている					
		生産活動	緩やかに持ち直している					
		企業収益	29年度は増益見込み					
		企業の景況感	「下降」超に転じている					
		雇用情勢	改善している					
	秋田県内全国企業短期経済観測調査結果 日本銀行秋田支店 2018年3月調査 平成30年4月2日公表	単位：%ポイント	2017年 12月	2018年 3月	変化幅	2018年 6月(予測)	変化幅	
		全産業	13	9	-4	8	-1	
		製造業	14	15	1	14	-1	
		非製造業	12	7	-5	4	-3	
東北	管内の経済動向 東北経済産業局 平成30年3月分 平成30年5月16日公表	全体の動向：一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している 鉱工業生産：持ち直しの動きとなっている 個人消費：足踏み状態となっている 住宅着工：高水準の中、このところ弱含んでいる 公共投資：減少しているが、復興事業により引き続き高水準にある 設備投資：緩やかに持ち直している 雇用：改善している 企業倒産：小康状態が続いている						
	管内経済情勢報告 財務省東北財務局 平成30年4月24日公表	項目	内容					
		総括判断	管内経済は、回復しつつある					
		個人消費	回復しつつある					
		住宅建設	前年を下回っている					
		設備投資	29年度は減少見込み					
		公共事業	高水準となっている					
		生産活動	緩やかに持ち直している					
		企業収益	29年度は増益見込み					
		企業の景況感	「下降」超幅が拡大					
		雇用情勢	改善している					
全国	月例経済報告 内閣府 平成30年5月 平成30年5月23日公表	景気は、緩やかに回復している。 ・個人消費は、持ち直している。 ・設備投資は、緩やかに増加している。 ・輸出は、持ち直している。 ・生産は、緩やかに増加している。 ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、改善している。 ・雇用情勢は、着実に改善している。 ・消費者物価は、このところ緩やかに上昇している。 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。						
	企業短期経済観測調査結果 日本銀行調査統計局 3月調査分 平成30年4月2日公表	[業況判断D I]	〈大企業〉		〈中小企業〉		全規模合計	
		単位：%ポイント	製造業	非製造業	製造業	非製造業	全産業	
		2017 / 12月	26	25	15	9	16	
	2018 / 3月	24	23	15	10	17		
	変化幅	-2	-2	0	1	1		